ロシア文化フェスティバル
2025 IN JAPAN

服部麻実
ソプラノ・リサイタル
～ロシアの夕べ～

PROGRAM

◆ チャイコフスキー
「それは早春のことではなかったか」
「騒がしい舞踏会の中で」「ピンピネッラ」

◆ ムソルグスキー
歌曲集『子供部屋』（全曲）

◆ プロコフィエフ
『アンナ・アフマートワによる５つの詩』

「ロシア民謡編曲集」より
「緑の小さな森」「カテリーナ」

◆ メトネル
プーシキンの詩による歌曲から
「夢見る人へ」「花」「冬の夜」「夜」

※プログラムは都合により変更になる場合がございます。ご了承ください。

Piano
ミハイル・カンディンスキー

2025年10月2日（木）
開演 19:00
開場 18:30

ルーテル市ヶ谷ホール
東京都新宿区市谷砂土原町1-1　TEL 03-3260-8621

全席自由　【一般】¥4,000 / ペア ¥7,000　【学生】¥2,000

服部麻実 Facebook ページ ▶ fb.com/hattori222

◀ チケット購入とお問い合わせ は左のQRコード（Googleフォーム）から

【後援】 日本音楽表現学会、ロシア文化フェスティバル日本組織委員会

服部麻実 ソプラノ・リサイタル

～ ロシアの夕べ ～

リサイタルによせて

このたびソプラノの服部麻実さんが満を持して、東京でリサイタルを開くことになった。日本ではまだまだ馴染みの薄いロシア歌曲のプログラムだが、珠玉の名曲がならぶ。ロシア語に習熟しなければなかなか歌えない曲目が多いが、みな服部さんがモスクワ音楽院で研鑽した成果である。その正確なディクションと解釈は私の友人でもあった故ガリーナ・ピサレンコ教授の折り紙つきで、それが名ピアニスト、ミハイル•カンディンスキー氏の伴奏で歌われる。これを聞きに行かない手はない。二人がどのような音楽を聞かせてくれるか、今から楽しみな夕べである。

伊東一郎　早稲田大学名誉教授（ロシア文学）

Soprano 服部 麻実 / はっとり あさみ（ソプラノ）

北海道教育大学札幌分校特設音楽課程卒業。東京音楽大学研究科修了。2001年からモスクワ国立音楽院に留学し、故ガリーナ・ピサレンコ教授の元で学ぶ。平成14年度文化庁芸術家在外研修員として研修を続け、同大学大学院を修了。第65回日本音楽コンクール入選、第16回日本声楽コンクール第1位、あわせて東京都知事賞受賞。

モスクワ市に於いてはソロ・リサイタルをはじめ、多くのコンサートに出演。2003年に「モスクワの国際音楽祭」、2004年には日本大使館の要請によりカザン市にて「現代音楽フェスティバル」出演。2013年からはモスクワで開催される「青少年のための声楽フェスティバル『銀の声』」他での招待演奏、並びに審査を行う。2018年には「ロシアにおける日本年」の行事一つとして、日本大使館の後援でモスクワのプロコフィエフ博物館にてコンサートを行う。

帰国後、札幌市でこれまで10回のソロ・リサイタルを開催し、ロシアの作曲家の作品を中心に演奏している。これまで取り上げた作曲者はチャイコフスキー、ラフマニノフを初め、グリンカ、ムソルグスキー、バラキレフ、タネーエフ、メトネル、プロコフィエフなど多岐にわたる。また現代ロシア作曲家V.ルービンの歌曲集『４人の女の面影』の日本初演を行う。2017年にはカワイ出版より「プロコフィエフ歌曲選集」を出版、対訳と曲目解説を担当する。

これまでに故ガリーナ・ピサレンコ、故滝澤三重子、長内勲、野田廣志、三部安紀子の各氏に師事。

現在、日本音楽表現学会会員、北海道教育大学岩見沢校教授。

Facebook：fb.com/hattori222

Piano ミハイル・カンディンスキー / Mikhail Kandinsky（ピアノ）

― 高潔にして精神的、輝くばかりの妙技 ― （A.ネフスキー）

1973年モスクワ生まれ。グネーシンを経てモスクワ音楽院首席卒業、英国王立音楽院大学院修了。ウィンゲート賞受賞。モスクワ・フィルハーモニー協会アーティストとなるが日本に移住。サントリーホールでのリサイタル、ウィーン・フィルメンバーとの共演、近年はショパン・コンサート(ワルシャワ)、カンディンスキー展コンサート(カリニングラード)、自作初演リサイタル(モスクワ)等国際的に高評を博す。CDを8枚リリース、YouTubeでは100曲以上の音源をアップ中。洗足学園音楽大学非常勤講師、上野学園元客員教授、東京ピアノコンクール、ショパン国際コンクールin Asiaほか各審査員。大画家W.カンディンスキーの兄の直系子孫。

HP：https://www.mkandinsky.com